

## 【1 事業の成果】

## (1) フードバンク事業

## ◆実施内容

- ・生活自立支援法に基づく岩手県内の相談機関や役所、社会福祉協議会等 27 団体(連携機関ではなく実際に食品を提供した機関等)に譲渡(支援)した。その他、相談機関や支援機関 18 団体(学習支援・こども食堂・被災者支援)、福祉施設等 7 施設、フードバンク団体 14 団体、計 66 ヶ所へ提供
- ・食品の取扱量は提供量(寄付)が 51436.18 kg (2022 年度 41701.56 kg、2021 年度 52557.78 kg)と 2021 年度程度まで回復少した、譲渡(支援)では 44818.19 kg (2022 年度 45926.69 kg、2021 年度 40114.02 kg)と前年度とほぼ同量の食品取扱量となった。
- ・食品譲渡(支援)は下記の表のとおり

2023 年度 食品譲渡(支援)量 kg

	施設等(件数)	世帯数	人数	重量(kg)
2023年4月	5	174	459	2107.27
5月	5	168	256	1375.31
6月	3	196	498	2326.22
7月	8	118	193	3139.95
8月	7	689	2284	10037.58
9月	25	181	425	3723.05
10月	8	182	489	2927.54
11月	6	113	216	1648.81
12月	8	699	2189	8816.82
2024年1月	11	151	421	2759.61
2月	16	199	577	3205.12
3月	8	146	266	2750.91
2023年度合計	110	3016	8273	44818.19

## (2) 困窮者支援事業(食のセーフティネット事業)

	世帯数	人数	重量(kg)
2023年4月	103	190	1069.70
5月	167	252	1122.42
6月	113	185	933.92
7月	118	193	1076.81
8月	95	193	1125.81
9月	124	210	1334.61
10月	92	153	929.28
11月	113	216	1209.37
12月	103	175	1285.15
2024年1月	92	186	1053.35
2月	91	173	954.85
3月	145	264	1438.43
2023年度合計	1356	2390	13533.7

## ◆実施内容

行政や生活自立支援法に基づく岩手県内の相談機関、社会福祉協議会等 27 団体(連携機関ではなく実際に食品を提供した機関等)に譲渡(支援)した。

## ◆成果

行政や社会福祉協議会等の支援機関からの緊急的食料支援要請件数:1356 世帯

(2022 年度 1219 世帯)

・フードバンク岩手への直接相談は 41 (来所 3 件、電話 41 件、メール 9 件)あり、関係機関へとつないだ。(2022 年度 46 件 2021 年度 47 件)

### (3)子ども世帯見守り事業(定期便)

	世帯数	人数	重量(kg)
2023年4月	71	269	901.92
5月	1	4	20.40
6月	83	313	1301.38
7月			
8月	88	333	826.39
9月	1	6	15.82
10月	90	336	1312.30
11月			
12月	98	193	912.19
2024年1月	92	186	1053.35
2月	108	404	944.20
3月	1	2	9.31
2023年度合計	633	2046	7297.26

#### ◆実施内容

支援機関より依頼を受けた世帯に対し定期的に食品を提供することにより支援機関につながり生活再建に向けた支援を受け、自立した後も環境や状況の変化があっても生活を悪化させない。食料支援を通じ支援機関とつながり続けることにより、困窮した場合や状況が悪化しそうな場合でも困窮しきる前に、再度支援機関によるよりそい支援が行えるように食料支援を通じ見守る事業。

#### ◆成果

行政や社会福祉協議会等の支援機関からの依頼件数:延べ633世帯(2046人)  
(2022年度480世帯)

### (4)フードバンク子ども応援プロジェクト

		世帯数	人数	重量(kg)
夏期	2023年8月	506	1758	7692.48
	9月	56	209	551.13
冬期	12月	498	1821	6252.22
	2024年1月	59	235	858.78
	2023年度合計	1119	4023	15354.61

#### ◆実施内容

- 夏、冬休み中の子どもの健康面や精神面における不安を解消すると同時に悩みごとを抱えながらも、支援が行き届いていない小中学生のいる世帯が抱えている課題や悩みを早期発見し、ケースによってはアウトリーチも行い相談機関等の社会福祉資源に早期につながり、生活が困窮しきる前に解決を図り重篤化を防ぐことを目的とした事業を行った。
- 緊急フードドライブなどで集まった食料品の検品や梱包作業には、市民ボランティアや学生ボランティアの参加で行った。若者が将来の担い手として、子どもの貧困問題や身近な地域課題の理解を深める為に作業前にこどもの貧困についての説明会を行った。(学生119名)

#### ◆成果

- 1119世帯4023人(2022年度1039世帯3777人)へ長期休み期間中に食品の詰合わせを発送、送付した食品重量合計15354.61kg(1世帯あたり13.72kg)
- 多くの世帯へ社会福祉資源の案内チラシを食品と共に同封し相談先を知ってもらい、115世帯が早期の相談につながった。また、行政担当課や社会福祉協議会以外にも多機関との協働や連携を行うことができた。

#### ◆課題

- 食品提供量(寄付量)は増加したものの夏期フードドライブ期間中に必要とする食品(おかず類)を集めることができず購入し対応した。
- 支援機関につながるケースも増加してきたが、短期間に食品を集める方法やルートの確保は今後も必要。
- 送料の確保・学校説明の回数の増加に伴う時間の確保・申請件数の増加に伴う事務処理対応・食品提供譲渡量の増加に伴う作業工程やボランティアコーディネートの能力向上などが今後のプロジェクトを充実させ、拡大し継続させるために必要である。

## (5)社会参加事業

### ◆実施内容

社会参加推進事業については、フードドライブ(食品寄付)による社会参加と、フードバンクこども応援プロジェクトの梱包作業等をきっかけとした個人での参加をする高校生の参加も多く福祉や食品ロス問題への関心の向上や将来の担い手を増やす事ができた。一般ボランティアは長期にわたり定期的に参加する人数が増えた。また、フードバンク岩手のボランティア経験を基に他のボランティア活動参加の契機ともなっている。

食品提供量(寄付)とボランティア参加者人数

	提供いただきました(寄付)		ボランティア参加人数		
	件数	重量	月別ボランティア実数	参加延べ人数	内高校生人数
2023年4月	98	1778.84	18	69	
5月	106	1572.56	19	64	
6月	111	3673.47	18	74	
7月	148	7606.67	64	119	47
8月	150	2369.41	17	70	
9月	129	4991.24	24	86	
10月	142	9998.29	21	74	3
11月	126	3995.10	22	71	1
12月	182	7365.26	91	156	63
2024年1月	120	3113.86	33	85	1
2月	117	2869.12	25	84	1
3月	108	2102.36	27	85	3
2023年度合計	1537	51436.18	2023年度 参加ボランティア実数 166名	1037	119

(提供(入庫)件数に食品回収BOXへの個人寄付は含まない)

### ◆成果

- ・多くの市民や企業の方々の参加やご支援によりお預かりした食品を岩手県内に暮らす生活にお困りの方々へお渡しすることができた
- ・フードバンク岩手倉庫での作業や食品輸送での市民参加者数は、一般ボランティア、学生ボランティア参加延べ人数1037人実数166人内高校生等119人(2022年度903人学生数106人)
- ・食品提供企業の増加、常設フードバンクポスト(食品回収BOX)設置箇所は岩手県内23市町村84ヶ所(前年より11ヶ所増)ポスト設置数の増加もあり食品の寄付を通じた市民の社会参加が増加した。
- ・広報や周知の徹底により、食品の取扱量は提供量(寄付)が51436.18kg(2022年度41701.56kg、2021年度52557.78kg)と前々年度程度の提供量となった。

### ◆課題

- ・全国フードバンク推進協議会、NPO法人POPOLOからの提供量も多く県内での食品の確保が必要
- ・譲渡(支援)では44818.19kg(2022年度45926.69kg、2021年度40114.02kg)と前年度とほぼ同量の食品取扱量となった。
- ・食料支援要請件数が増加により食品取扱量も増加しているため、食品の今後一時的保管場所の検討が必要。
- ・助成金の申請先が減少しており継続的な活動を維持するためにも活動資金や食品寄付につなげる広報や周知活動も常時実施していく必要がある。

## (6)メディア掲載等

- ・新聞21回、テレビ4回、ラジオ4回・新聞広告3回  
(協力企業様のニュースレター等は除く)

## (7)その他

・農水省、消費者庁、東北農政局との意見交換

・2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震への被災者支援を1月2日より石川県内に入り実施、その後も毎月2~3回程度継続実施中、またフードバンク能登の設立に向けた支援を継続中。

## 【2 事業実施に関する事項】

### (1) 特定非営利活動に関わる事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
フードバンク事業	・市民や生産者に食品の提供をお願いし、生活困窮者自立支援相談事業所などに無償で提供する事業。	常時	盛岡広域 岩手県内	5名	・岩手県内の生活困窮者自立相談事業所、施設等 66団体。 緊急食料支援 1356世帯 見守り支援(定期便)633世帯 ・東北のフードバンク活動10団体	7,900
困窮者支援事業	子どもを持つ世帯の困りごとを早期発見し支援機関との連携で解決する事業	随時	盛岡市など 県内	5名	子ども世帯 1119世帯	3,781
社会参加推進事業	寄付された食品の仕分けや、フードドライブなどをきっかけに困窮者支援に市民の参加を促進する事業	週4回 程度	当事務所 岩手県内	5名	協力団体・企業・学校等 188団体	431
就労継続、就労移行 支援事業	実施なし					0
その他の付帯する事業	災害時の食料支援体制構築事業(四国・九州地方、及び石川県)	月2回 程度	四国・九州 地方及び 石川県 6県	2名	四国・九州地方の被災者支援団体 令和6年能登半島地震被災者、行政 社協 NPO 等	3,641

### (2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)